

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 6 月 14 日(2023.6.14)

【公開番号】特開 2023-54047(P2023-54047A)

【公開日】令和 5 年 4 月 13 日(2023.4.13)

【年通号数】公開公報(特許)2023-069

【出願番号】特願 2023-17990(P2023-17990)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 6 月 5 日(2023.6.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

判定を行う判定手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて特典を付与しうる特典付与手段と、

遊技者による操作を受ける特定の操作受け部と、

前記特定の操作受け部に対する操作機会が付与される受付許容状態を発生可能であり、
該受付許容状態において操作受付されると受付後変化を生じさせる操作受付手段と、

前記特定の操作受け部を摸した摸画像表示を所定の表示領域に表示可能な摸画像表示手段と、

前記摸画像表示とは異なる別画像であり、該摸画像表示に対してその前側から重なって見える重複演出表示を表示可能な重複演出表示手段と

30

を備え、

前記受付許容状態の発生に際しては、操作受付が許容される状態になったこと、または操作受付が許容される状態になることを示唆する受付許容音が可聴出力されうるようになっており、

前記受付許容状態として、

前記操作受付がなされた場合、該操作受付に基づいて第 1 受付後変化を生じさせるとともに、該第 1 受付後変化では、前記重複演出表示が表示される第 1 受付許容状態、

前記操作受付がなされた場合、該操作受付に基づいて第 2 受付後変化を生じさせるとともに、該第 2 受付後変化では、前記重複演出表示が表示されない第 2 受付許容状態、及び

40

前記操作受付がなされた場合、該操作受付に基づいて第 3 受付後変化を生じさせるとともに、該第 3 受付後変化では、前記重複演出表示が表示されない第 3 受付許容状態

が用意されており、

前記第 1 受付許容状態、前記第 2 受付許容状態、及び前記第 3 受付許容状態のいずれが発生する場合であっても、当該受付許容状態が発生するときには前記摸画像表示が表示されるが、前記第 1 受付許容状態及び前記第 2 受付許容状態のいずれかが発生する場合は、前記摸画像表示は、当該受付許容状態が発生してから前記特定の操作受け部に対する操作受付の許容される状態が継続している間は非表示の状態にされずその表示状態が継続されるのに対し、前記第 3 受付許容状態が発生する場合は、前記摸画像表示は、当該受付許容状態が発生してから前記特定の操作受け部に対する操作受付の許容される状態が継続して

50

いるなかで前記摸画像表示が非表示の状態にされうようになっており、

前記第 1 受付許容状態及び前記第 2 受付許容状態のいずれかが発生する場合は、前記受付許容音が可聴出力されるが、前記第 3 受付許容状態が発生する場合は、前記受付許容音が可聴出力されないようになっており、

さらに、

前記受付許容状態が発生する場合、該受付許容状態の発生に関連する表示として、前記摸画像表示とは異なる特定の前演出表示が表示される場合があり、該特定の前演出表示は、前記受付許容状態の発生タイミングを跨るかたちで表示可能とされ、

前記重複演出表示は、前記特定の前演出表示が表示されているなかで表示される場合、該特定の前演出表示に対してその前側から重なって見えるように表示され、

10

さらに、

前記判定手段による判定に用いられる判定情報を記憶可能な保留記憶手段と、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報に基づいて複数の変動パターンの中からいずれかを選択し、該選択した変動パターンで図柄変動を実行可能な図柄変動実行手段と

を備え、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が所定数未満の状況にあるときに前記変動パターンが特定変動パターンで前記図柄変動が実行開始されたときには、前記第 3 受付許容状態は、該図柄変動が実行開始されてから所定時間が経過したときに発生しうるものであるが、前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が所定数以上の状況にあるときに前記変動パターンが前記特定変動パターンで前記図柄変動が実行開始されたときには、前記第 3 受付許容状態は、該図柄変動が実行開始されてから前記所定時間が経過したときに発生しない

20

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

手段 1：判定を行う判定手段と、

30

前記判定手段の判定結果に基づいて特典を付与しうる特典付与手段と、

遊技者による操作を受ける特定の操作受け部と、

前記特定の操作受け部に対する操作機会が付与される受付許容状態を発生可能であり、該受付許容状態において操作受付されると受付後変化を生じさせる操作受付手段と、

前記特定の操作受け部を摸した摸画像表示を所定の表示領域に表示可能な摸画像表示手段と、

前記摸画像表示とは異なる別画像であり、該摸画像表示に対してその前側から重なって見える重複演出表示を表示可能な重複演出表示手段と

を備え、

前記受付許容状態の発生に際しては、操作受付が許容される状態になったこと、または操作受付が許容される状態になることを示唆する受付許容音が可聴出力されうようになっており、

40

前記受付許容状態として、

前記操作受付がなされた場合、該操作受付に基づいて第 1 受付後変化を生じさせるとともに、該第 1 受付後変化では、前記重複演出表示が表示される第 1 受付許容状態、

前記操作受付がなされた場合、該操作受付に基づいて第 2 受付後変化を生じさせるとともに、該第 2 受付後変化では、前記重複演出表示が表示されない第 2 受付許容状態、及び

前記操作受付がなされた場合、該操作受付に基づいて第 3 受付後変化を生じさせるとともに、該第 3 受付後変化では、前記重複演出表示が表示されない第 3 受付許容状態

が用意されており、

50

前記第 1 受付許容状態、前記第 2 受付許容状態、及び前記第 3 受付許容状態のいずれが発生する場合であっても、当該受付許容状態が発生するときには前記摸画像表示が表示されるが、前記第 1 受付許容状態及び前記第 2 受付許容状態のいずれかが発生する場合は、前記摸画像表示は、当該受付許容状態が発生してから前記特定の操作受け部に対する操作受付の許容される状態が継続している間は非表示の状態にされずその表示状態が継続されるのに対し、前記第 3 受付許容状態が発生する場合は、前記摸画像表示は、当該受付許容状態が発生してから前記特定の操作受け部に対する操作受付の許容される状態が継続しているなかで前記摸画像表示が非表示の状態にされうようになっており、

前記第 1 受付許容状態及び前記第 2 受付許容状態のいずれかが発生する場合は、前記受付許容音が可聴出力されるが、前記第 3 受付許容状態が発生する場合は、前記受付許容音が可聴出力されないようになっており、

10

さらに、

前記受付許容状態が発生する場合、該受付許容状態の発生に関連する表示として、前記摸画像表示とは異なる特定の前演出表示が表示される場合があり、該特定の前演出表示は、前記受付許容状態の発生タイミングを跨るかたちで表示可能とされ、

前記重複演出表示は、前記特定の前演出表示が表示されているなかで表示される場合、該特定の前演出表示に対してその前側から重なって見えるように表示され、

さらに、

前記判定手段による判定に用いられる判定情報を記憶可能な保留記憶手段と、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報に基づいて複数の変動パターンのいずれかを選択し、該選択した変動パターンで図柄変動を実行可能な図柄変動実行手段とを備え、

20

前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が所定数未満の状況にあるときに前記変動パターンが特定変動パターンで前記図柄変動が実行開始されたときには、前記第 3 受付許容状態は、該図柄変動が実行開始されてから所定時間が経過したときに発生しうるものであるが、前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が所定数以上の状況にあるときに前記変動パターンが前記特定変動パターンで前記図柄変動が実行開始されたときには、前記第 3 受付許容状態は、該図柄変動が実行開始されてから前記所定時間が経過したときに発生しない

ことを特徴とする遊技機。

30

40

50